

検査項目		検査項目の意味	基準値 (単位)	
8	糖尿病	尿糖	尿中に出てくる糖のことを尿糖といいます。血糖と照合し糖尿病の有無を調べます。	(-)
		血糖(空腹時)	血液中の糖量により、糖尿病やその傾向の有無を調べます。また膵臓の状態を知る検査です。	99以下 (mg/dl)
		HbA1c	過去1～2ヶ月間の血糖値の状態を反映しています。	5.1以下 (%)
9	脂質	HDL コレステロール	HDLコレステロールは善玉コレステロールと言われています。喫煙や運動不足で低下すると考えられます。値が小さい場合動脈硬化などのリスクが高まります。	40～119 (mg/dl)
		LDL コレステロール	LDLコレステロールは悪玉コレステロールと言われています。値が高い場合、狭心症や心筋梗塞、脳梗塞、大動脈瘤、末梢動脈硬化症などのリスクが高まります。	60～119 (mg/dl)
		総 コレステロール	動脈硬化の促進因子です。体質のほか、過栄養・初老・糖尿病・甲状腺機能低下症でも高値になります。肝硬変・甲状腺機能亢進症で低値になります。	140～199 (mg/dl)
		中性脂肪	動脈硬化、糖尿病等における脂質代謝異常の状態がわかります。脂質・糖質・アルコール等の取り過ぎや肝臓病・糖尿病で高値になります。	30～149 (mg/dl)

10	血液検査	白血球数	増加の場合は炎症性疾患・出血・白血病、減少の場合は再生不良性貧血・骨髄異形成症候群・白血病などがあります。	32.0～85.0 ($10^4/μl$)	
		赤血球数	増加の場合は赤血球增多症、減少の場合は貧血です。	400～539 ($10^4/l, μl$)	
		血色素量	低下は貧血を示します。	13.1～16.6 (g/dl)	
		ヘマトクリット	増加の場合は血液の濃縮、脱水を意味します。低下は貧血症を示します。	38.5～48.9 (%)	
		MCV	平均赤血球容積	赤血球の状態を推測し、貧血のタイプを調べる検査です。	85.0～101.9 (fL)
		MCH	平均赤血球血色素量		26.0～34.5 (pg)
		MCHC	平均赤血球血色素濃度		31.0～36.0 (g/dl)
		血小板数	血小板は出血を止める役目を果たします。減少で出血しやすくなり、増加は血栓の原因となります。肝機能障害で減少することがあります。	13.0～34.9 ($10^4/l, μl$)	
		白血球分類	好中球	細菌感染・ウイルス感染・各種白血病・アレルギーなどの診断のための検査です。	(%)
			リン球		(%)
単球	(%)				
好酸球	(%)				
好塩基球	(%)				
異型リン球	(%)				
骨髄幼若球	(%)				

11	血清・感染症検査	CRP(炎症反応)	身体のどこかに炎症または組織破壊があるとき高値になります。	0.40以下 (mg/dl)
		RF(リウマチ因子)	慢性関節リウマチの時に高値になります。リウマチ以外の膠原病・慢性肝炎・感染症また加齢でも高値になることがあります。	18以下 (U/ml)
		TP抗体(梅毒)	梅毒検査です。梅毒の初期は陰性のこともあります。	(-)
		RPR	梅毒検査です。各種感染症や膠原病などで偽陰性を示す場合があります。	(-)
		HBs抗原	HBs抗原陽性はB型肝炎に感染している状態を示します。	(-)
		HCV抗体	HCV抗体陽性は、現在(または過去に)C型肝炎ウイルスに感染している(存在していた)事を示します。	(-)